



朝日大学は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人的知性に富む人間の育成をめざします。



毎月1日発行
編集・発行
朝日大学
企画課

http://www.asahi-u.ac.jp/

故岩山学長お別れの会

功績を偲び、関係者が献花

10月4日(土)午後2時から、本学穂積キャンパス10周年記念館大ホールで、去る8月31日(日)逝去した岩山幸雄前学長を偲び、教職員、学生等で同氏を送る「お別れの会」が行われた。法人役員、教職員、学生、岐阜県の政界、経済界関係者及び氏と生前親しかった歯科医学界の方々等約1,000名が出席した。(岩山先生の想い出の写真、追悼の言葉など2面に関連記事)



このお別れ会は、葬儀とは別に、現職の学長の逝去に際し、法人役員、教職員及び学生など学内関係者により、学長を送ろうという趣旨から、催されることになったもの。このことから無宗教で、平服で挙行された。

会は大友克之実行委員長の開会のことばで始まり、最初に参会者全員で黙祷を行った。続いて、お別れのことばが、全学を代表し、宮田侑理事長、各学部を代表し、田村康夫歯学部部長、

お弟子さんたちの代表として澁谷俊昭教授(歯周病学分野)、最後に学生代表(歯学部6年渡邊竜太さん、歯科衛生士専門学校2年眞浦洋子さん)からそれぞれ述べられた。

場内には在りし日の岩山学長の姿がスクリーンに映し出され、本学体育会所属の12のクラブが入場し、祭壇の前で部旗を用いて哀悼の意を表した。引き続き参会者全員による献花が行わ



お別れのことばを述べる宮田侑理事長

れた後、学歌斉唱により岩山先生を参会者全員で送った。最後に竹内宏実行副委

大友克之 新学長 就任

岩山学長の急逝を受け、10月4日(土)、臨時理事会が開催され、新しい学長に大友副学長を選任した。任期は、岩山前学長の残任期間である2010年3月31日まで。(2面に関連記事)

理事会は、10月4日12時から、本学穂積キャンパス1号館大会議室で開催され、朝日大学学長等の選任及び職務執行に関する規程第4条に基づき、全会一致で大友副学長を第7代朝日大学学長に選任した。

新学長は1966年生まれ。昭和大学医学部卒業、順天堂大学大学院医学研究科修了。医学博士。専門は整形外科学、骨のがん。2000年4月本学歯学部助教授、2004年7月教授に就任。1999年4月から歯学部附属村上記念病



大友克之 新学長

院副病院長、2007年4月に副学長に就任した。超高齢化社会を迎え、教育界を含め、我が国はまったく新しいシステム作りが要求されている。若い学長のリーダーシップが期待される。



「お別れの会」には、学内外から約1,000名の参会者があった

員長から参会者へのお礼の言葉が述べられ「お別れの会」は閉会となった。当日は秋晴れで、岩山先生の旅立ちを天も見送っているかのようであった。

大友学長の横顔



新学長として出迎えを受ける大友学長

故 岩山学長を偲ぶ



花束を受けた大友学長



体育会所属の12のクラブが部旗で哀悼の意を表す



ご遺族をはじめとして参会者が献花



会場入口には在りし日の岩山学長が紹介された

とは、誠に痛恨の極みであります。残された私たち一同は、先生のご遺志を忘れず、朝日大学発展のため、全職員一丸となって全力を挙げ、誓いを、お別れの言葉とさせていただきます。

岩山先生やすらかにやすみください。さようなら。

学校法人 朝日大学
理事長 宮田 侑